

県政だより

あきた 新時代

4 2002
月号

平成14年4月1日発行(第79号)
[全戸配布広報紙]

編集・発行 / 秋田県情報公開課
〒010-8570 秋田市山王四丁目1番1号

☎018(860)1073

FAX 018(860)1072

sinjidai@pref.akita.jp

テレビCMの放映開始

地域のきらめき発掘事業

[まちむら元気ルポ]

西仙北町 [インターチェンジで活性化]

近くの生態系公園を訪れた大湯村立大湯幼稚園の子どもたち。暖かいハウスの中でランやヒスイカズラなど珍しい花に囲まれて、にっこり。

テレビCMの放映開始!

フジテレビ系「とくダネ!」で
1年間の番組提供(全国)
首都圏と東北各県で
スポットCMを放映



ま、ま、
そのまま、
そのまま。秋田県

もてなしの心で 秋田の良さを 伝えましょう。

県では、4月から秋田の魅力を伝えるテレビCMを放映するほか、人と人とのつながりを大切にした「チーム秋田」やインターネットを活用し、広く全国に情報発信していきます。

秋田を訪れる観光客に、もてなしの心で秋田の良さを伝えられるようご協力ください。

全国に向け 秋田のCMを放映

4月から1年間全国放映されるCMは、「温泉天国」編と「食い道楽」編の2本立てで、秋田そのものの良さを伝えるため、ナレーションは秋田弁です。そのままでは分からない人のために字幕スーパーが入ります。

ナレーションは、山谷初男さん(角館町出身)と、浅利香津代さん(秋田市出身) CMの総合プロデューサーは横手市出身で『広告批評』編集長の島森路子さんです。

チーム秋田サポーターズ

秋田の観光情報を発信するボランティア「チーム秋田サポーターズ」を首都圏在住の方を対象に昨年5月から募集しました。このほど目標の1,000人に到達したサポーターズの愛称は、「1,000人隊」。サポーターズの皆さんには、アンケートに答えていただくほか、秋田のPRのお手伝いをお願いしています。

このほか、首都圏で秋田の食材を扱うお店などに観光PRをお願いするショッパーズ(目標100店、現在88店)と、秋田ゆかりの著名人にサポートをお願いするリーダーズ

(目標30人、現在13人)があり、口コミでのPRをお願いしています。



東京(1/24)での記者会見に参加したサポーターズの皆さん



秋田の食材をPRする「あきたランチョン」でリーダーズとサポーターズが交流。写真中央は作家の西木正明さん

[温泉天国]編



ここ秋田県は
どんな温泉通をも
満足させる
日本を代表する
名湯ぞろい

神経痛に効く湯
美人になれる湯
絶景の湯

ひなびた湯
数えあげたらきりがなし

温泉は
秋田抜きでは
語れません

ま、ま、
そのまま、
そのまま。秋田県

[食い道楽]編



ここ秋田県は
食い道楽の国

きりたんぼ
しょつつる貝焼き
とんぶり がっこ
いものこ汁
そして自慢のお酒

水がいい
たべものもいい
なるほど秋田美人も
育つわけです
心ゆくまで満足して
お帰り下さい

ま、ま、
そのまま、
そのまま。秋田県

「あきたファン・ドット・コム」を リニューアル

観光情報を発信するインターネットホームページ「あきたファン・ドット・コム」(<http://www.akitafan.com>)を4月1日から全面的に刷新しました。

地図情報システムの導入で目的の場所を簡単に確認できるのが特徴で、秋田県の物産、県内すべての旅館・ホテルのほか、約4,000件の観光情報が写真付きで紹介されています。

おいしい食べ物や飲食店、旅館やホテルなどについて、利用者の皆さんから寄せられた情報を掲示するコーナーもありますので、ぜひご覧ください。



ご意見・ご提言・お問い合わせは
県観光情報発信チーム
TEL018(860)2273

地域のきらめき発掘事業

地域づくり活動を
支援します!

県民のみなさんが主役となった地域づくりを実現するため、地域活性化に向けた民間グループの取り組みを支援する「地域のきらめき発掘事業」を実施しています。

14年度の対象グループを募集しますので、みなさんのアイデアを新しい秋田づくりに生かしてみませんか。

県市町村課で受け付ける支援メニューは、4月から5月末まで募集を行います。その他は地方部ごとに募集しますので、募集期間や応募方法などの詳細は、最寄りの各地方部県民室にお問い合わせください。



昨年8月の大湯祭フェスティバルin湯沢2001

4つの支援メニュー

地域づくりコミュニティビジネスの立ち上げ

地域のニーズに合わせて地域住民自らが企画し、サービスを提供しようとするもので、地域活性化の効果が期待できるものを支援します。

将来的に起業しようとする事業の立ち上げに要する経費が補助対象となります。

補助金 1件につき50万円まで(各地方部1件)

例 地域情報ホームページの作成、観光案内人の派遣、温泉の宅配サービス、お年寄りの買い物代行、生活品のリサイクル・交換、特産品のインターネット販売など

地域づくりワークショップなどの開催

地域活性化プランの策定や講演会、研修会、ワークショップ等で、地域づくり活動の推進が図られるものを支援します。

補助金 1件につき30万円まで(各地方部5件)

地域づくりイベントなどの実施

地域活性化イベントなどで、県内外の人々の興味や関心を集め、地域のにぎわいや元気を創出することが期待される取り組みを支援します。

補助金 補助対象経費の2分の1以内で、1件につき100万円まで(各地方部4件)

ただし、新たに取り組む広域的なイベントについては補助対象経費の2分の1以内で、1件につき200万円まで(全県で2件)

実践指南モデル事業

主に女性または学生(大学・短大)を中心としたグループが対象で、専門の講師の具体的な指導を受けながら、地域活性化イベントを企画・実践していただきます。

補助金 1件につき100万円まで(県市町村課で受付、全県で3件)

お問い合わせ 各地方部県民室、または県市町村課
TEL018(860)1141
ホームページ <http://www.pref.akita.jp/teki/kirameki.htm>

県立近代美術館

横手市赤坂 TEL0182(33)8855

杉山明博「鳥の造形」

企画展

「木はともだち 造形の森」展

木でできたさまざまな形をつないだり、重ねたりして自分だけの作品を作りあげる参加型の展示会です。

日時 4月27日(土)~7月21日(日)

午前9時30分~午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料 一般400円、学生300円、小・中学生200円



県立農業科学館

大曲市内小友 TEL0187(68)2300

企画展「米作りの四季」

昭和40年頃までの人力や畜力による米作り作業で使用した農具と写真を展示し、昔の人々が編み出した数々の知恵を紹介します。

日時 4月9日(火)~5月6日(振休)

午前9時30分~午後4時30分

入館料 無料

遊・学 さんぽみち

東北地方道路写真コンテストの 作品を募集します

東北地方の「道」を、さまざまな角度から自由な発想でとらえた写真を募集します。

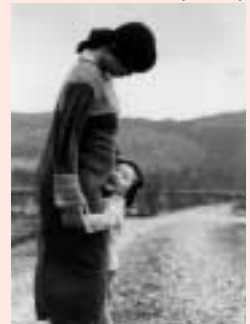
部門 一般の部、小・中学生の部、
高校生の部

募集期間 4月1日(月)~5月31日(金)

応募方法 応募用紙は県道路建設課のほか、道の駅にもあります。必要事項を記入し、写真に添付してお送りください。

応募・お問い合わせ
県道路建設課 TEL018(860)2483

昨年度の最優秀作品(高校生の部)
「いつまでも一緒に」
藤原みどりさん(増田町)



2月号の表紙の写真を見て、小さいころ馬ソリの後ろにつかまって竹スキーに乗ったことを懐かしく思い出しました。
(45歳・女性・八竜町)

も職を失い困っているのが現実です。前のように活気にあふれた町に早く戻れたらと願っています。
(38歳・女性・仁賀保町)

不況、就職難のなか、県がいち早くワークシェアリングで就業の場を創り出したことを県民として喜んでおります。
(67歳・男性・秋田市)

毎回、春夏秋冬こぼれ話が楽しみです。人情味のあるイラストが特に好きです。「ホントにそうじゃべったんだべなあ」という感じの台詞がお気に入りです。
(33歳・女性・秋田市)

ワークシェアリングは、民間、役所を問わず、これからどんどんやっていかなければならないと思います。社員1人分でパートさん3、4人を雇うことができるわけです、私のように子供が小さくても2~3時間なら働ける人もたくさんいますから。
(34歳・女性・八郎潟町)

「私のおすすめ秋田の風景」が大好きです。秋田で生まれ育っても、知らない場所がたくさんあるものですね。
(25歳・女性・本荘市)

私の町では私より5歳くらい上の人たち

あきた新時代は点字版で読んでいます。毎号楽しみにしています。
(38歳・女性・横手市)

県民のみなさんからいただいた「おたより」の中から、心なごむ一言や県政に対するご意見、広報紙の感想などをご紹介する新コーナーです。

まちむら 元気ルポ

西仙北町

インターチェンジで活性化

西仙北町といえば勇壮な小正月行事「刈和野の大綱引き」で有名ですが、もうひとつ全国に誇れるものとして、日本では例のない方式のインターチェンジ(IC)が4月10日誕生します。

町には西仙北サービスエリア(SA)はありますが、高速道への出入りができるICがないため、大曲や協和などのICを経由しなければなりません。そこで、町では平成8年から周辺市町村とともにICの建設実現に取り組んできましたが、このたび、全国で初めて既存のSAを生かしたICを建設しました。

ふつうICの設置や運営は日本道路公団などが行いますが、西仙北の場合は、町が設置し、料金所の運営も町の第三セクターに委託する方式をとっています。

また、既存のSAや町有地を活用することで工事期間を短縮し、総事業費は約8億8千万円と、通常の建設費(40~50億円)に比べ格段に低く抑えられています。

さらに、運営コストを抑えるために、利用時間を午前6時から午後10時までに制限しています。(ご利用の際はご注意ください) こうした取り組みは全国から注目を集め、遠くは香川・岡山など、約70もの自治体が視察に訪れています。

西仙北ICを降りると、神経痛にも効くといわれる強首温泉郷まで約2分、宿泊施設やプールがある西仙北ぬく森温泉「ユメリア」や、長さ103mの滑り台で楽しめる大佐沢公園まで約5分と、くんと便利になります。

また、料金所の隣には、刈和野の大綱引きの紹介や周辺の観光情報の提供などを行う「ぬく森プラザ」がオープンします。

町企画振興課では「観光や産業など地域全体の活性化に結びつくよう、住民のみなさんと一緒にアイデアを出し合っ、このICを大いに活用していきたい」と語っています。



お問い合わせ 西仙北町企画振興課 TEL 0187(75)1111 ホームページ <http://www.obako.or.jp/nishisen/>



お知らせ

大曲仙北健康福祉センター
角館支所の廃止と巡回窓口の設置

角館支所は3月末で廃止されましたが、4月以降も現在の建物で巡回窓口を設置します。巡回窓口では、これまでの窓口業務のほか、新たに心身障害児の福祉についての相談などにも応じます。
開設日 毎週火・木曜日
開設時間 午前9時半～午後4時
◎大曲仙北健康福祉センター
TEL0187(63)3403

「県バリアフリー社会の形成に関する条例」が制定されました

高齢者、障害者などを含むすべての県民が安心して暮らし、自由に活動できる社会をめざし、県、事業者、県民が一体となって、バリアフリー社会を形成するための施策を進めます。
全面的な施行は15年4月からですが、今後、条例の内容をPRするため出前講座などを実施します。
◎県バリアフリー促進チーム
TEL018(860)1325

あきたハーモニー条例施行

4月から「あきたハーモニー条例」(正式には「秋田県男女共同参画推進条例」)が施行されました。
この条例では性別による人権侵害を禁止し、これに関する苦情の申し出などについて定め、男女共同参画社会づくりを積極的に進めていくこととしています。
◎県男女共同参画課 TEL018(860)1555

情報公開条例が変わります

昨年10月に改正された県情報公開条例が4月から施行されました。
公安委員会と警察本部長がこの4月以降に作成・取得した行政文書も公開請求できるほか、県が資本金等の2分の1以上を出資している法人などの情報公開も進めます。また、原則として公開するという趣旨が、より明確に規定されました。

◎県情報公開課 TEL018(860)4091
県警・情報公開センター
TEL018(863)1111

特別永住者の元軍人軍属などの方へ

特別永住者として永住している朝鮮半島、台湾出身者の方などで元軍人軍属の方などに甲慰金・見舞金が支給されます。請求窓口はお住まいの市町村の援護担当課です。
対象 昭和12年7月7日以後の公務傷病により、昭和16年12月8日以降死亡された方の遺族、重度の障害の状態にある方、重度の障害の状態にあった方の遺族
支給内容 上記の方には甲慰金260万円、の方は見舞金等400万円
請求期間 16年3月31日まで
◎市町村の援護担当課または
県福祉政策課 TEL018(860)1319

男鹿水族館の駐車場について

現在の男鹿水族館は新水族館建設のため今年8月末までの営業となりますが、大駐車場は4月上旬から利用できなくなります。
土曜・日曜、ゴールデンウィーク及び夏休み期間は、戸賀湾展望公園駐車場(水族館から南に600m)からシャトルバスを運行しますので、こちらをご利用ください。
平日は、台数に限りがありますが、水族館隣接の旧遊覧船発着地に駐車できます。
◎男鹿水族館 TEL0185(37)2131

県立博物館の一部を閉鎖します

リニューアル工事のため4月から2年間一部閉鎖されますが、この期間も菅江真澄資料センター、秋田の先覚記念館、分館(旧奈良家住宅)は見学できます。(入館無料)
◎県立博物館 TEL018(873)4121

春の全国交通安全運動

春の全国交通安全運動が4月6日から始まります。運動の重点は次の3つです。
子供と高齢者の交通事故防止
飲酒運転など悪質・危険な運転の追放
シートベルト・チャイルドシートの100%着用
安全で快適な交通社会を実現するため、地域ぐるみで交通ルールの遵守と交通マナーの実践を習慣づけましょう。
◎県警・交通企画課 TEL018(863)1111

パスポートの申請はお早めに

サッカーの世界カップ観戦のためパスポートを申請される方は、手続きをお早めに。
県庁では申請の日から土・日・祝日を除いて5日目以降、各地方総合庁舎では同じく9日目以降の交付となります。
◎県国際交流課 TEL018(860)1112

募集

「すこやか奨学金」をご利用ください

この春大学・短大に進学する第3子以降の方が対象となります。貸与金額は月額3、4、5、6万円のうちいずれかを選べます。返還期間は修学年数の3倍で、卒業後、県内に居住する期間は2分の1相当額の返還が免除されます。(募集人員500人)
日本育英会など他の奨学制度を利用する場合は対象外です。
申込期限 4月26日(金)
◎財 秋田県育英会 TEL018(860)3552

「あきた県民カレッジ」受講者募集

あきた県民カレッジ主催講座の受講者を募集します(応募多数の場合は抽選)
募集人員 あきた歴史学(50人)ノあきた自然学(100人)ノあすの秋田を考えるセミナー(50人)
受付期間 4月9日(火)~26日(金)
◎県生涯学習センター TEL018(865)1171

北東北3県の交流・連携事業に
チャレンジしませんか

北東北広域連携推進協議会では、青森、岩手、秋田を拠点にして県境を越える交流・連携事業を行う団体に助成金を交付しています。
助成額 上限50万円(9団体程度)
または上限15万円(6団体程度)
募集期間 6月10日(月)まで
◎県総合政策課 TEL018(860)1214

アトリオン主催のコンサートへ
あなたのご意見を

アトリオン音楽ホールで県が主催するクラシック音楽のコンサートを選考する委員2人を募集します。
応募資格 県内在住の20歳以上の方で、クラシック音楽に関心のある方(過去に委員経験のある方は除く)
募集期間 5月5日(日)まで
◎県総合生活文化会館 TEL018(836)7803

試験

14年度県職員採用試験実施計画

試験名	受験案内・申込書の配布開始日	一次試験日
上級	5月17日	6月23日
上級(職務経験者採用)	7月23日	10月20日
中級・初級	7月12日	9月29日
初級(身体障害者採用)	7月23日	10月20日
警察官A・女性警察官A	5月17日	7月14日
警察官B・女性警察官B	7月12日	9月22日

詳細は受験案内で確認してください。
受験案内の請求・お問い合わせ
県人事委員会事務局 TEL018(860)253
〒010-0951秋田市山王四丁目1-2

☐ テレビ

こちらお茶の間情報局 (番組名が変わりました)
 ABS 毎週日曜日11:00~11:15
 4月 7日 環境あきた県民フォーラム
 14日 男女共同参画社会をめざして
 21日 バリアフリー条例ができました
 28日 知事とともに(11:25まで)

秋田花まるっ

AKT 毎週月曜日21:54~22:00
 4月 1日 市町村合併を考えよう
 8日 白神酵母でパンづくり
 15日 ソウル・ナウ(1)
 22日 ソウル・ナウ(2)
 29日 清水と蔵のまちづくり

あきた東西南北

AAB 毎週土曜日9:30~9:45
 4月 6日 支援します!総合食品研究所
 13日 日本一の木橋・坊中橋
 20日 西仙北IC開通
 27日 あきたビューティフル・サンデー

📻 ラジオ

県庁だより

ABS 月~金11:45~11:50

モーニングスマイル

エフエム秋田 毎週土曜日 8:30~8:55

広報 の窓

あなたの声を 県政に生かします。

県ではさまざまな形で、県民のみなさんから提言や要望などをお聴きしています。

知事面会日 毎月第1月曜日

前の月の15日までお申し込みください。

知事への手紙 手紙やFAXで受付

用紙は県庁・地方総合庁舎の県民ホール、市町村窓口などに置いています。

任意の用紙でも結構です。その場合は「知事への手紙」と明記の上お送りください。

電子メール秋田県への提言

県のホームページ「美の国秋田ネット」の「県政への提言」からお入りください。

<http://www.pref.akita.jp>

「県政モニター」募集中!

モニター通信などによりご意見をいただく県政モニターを募集しています。申込期限は4月15日です。

詳しくは、本紙3月号のこの欄または県のホームページ(前記)をご覧ください。

受付・お問い合わせ

県情報公開課 〒010-8570

秋田市山王4-1-1

TEL018(860)1071,1076

FAX018(860)1072

Eメール koho@pref.akita.jp

県政に対する苦情は 「県民行政相談室」へ

県民行政相談員が、県の行政に対するあなた自身の利害にかかわる苦情を公正中立の立場で調査・処理します。

受付場所 県民行政相談室(県庁1階)

相談日 毎週月・火・木・金曜日(祝日除く)
午前10時~午後4時

TEL018(860)1082,1083

FAX018(860)1072

Eメール kujyou@pref.akita.jp

春夏秋冬 こぼれ話

シリーズ37

文 小西 一三 / 絵 小西由紀子

手を加えず見守る福寿草は 「町の天然記念物」



雪解け後の、春一番の花といえは福寿草だ。寒さに耐えながら黄色の可憐な花を咲かせる姿は、なんともいじらしい。県内各地に自生地はあるが、その中で最も早く咲き始めるのは金浦町の大竹地区。最近はその開花がテレビや新聞などの季節ネタとして毎年のように紹介されている。

大竹地区に住む「金浦町野の会会長」の須藤兵一さん(六五)の話によると、福寿草の花の盛りは例年、春のお彼岸の頃。開花は早い年でも三月十五日頃だという。

「ところが今年は二月二十八日頃から咲き始めました。長年この花を見てきたけど、二月中に咲いたなんて初めてのことです。それだけ今年は暖かいというところでしょっとな」と須藤さん。

大竹地区では雑木林の斜面にある群生地のほか、民家の庭先のおちちでも福寿草を見かける。「ここは土壌が適しているのか、鉢植えの福寿草を畑や庭のちよっとした日陰に植え直すと、けっこう増えるんですよ。かといって、これを鉢植え

にして出荷している農家もありませんけどな」

「私が小さい時、春先に遊びでこの花を摘んで持ち帰ると、この花って毒だ。手が腐ると!!」って、しかられたもんです。後で知ったんですが、福寿草はあの毒草のトリカブトと同じキンポウゲ科。同じような毒があるんですよ」と須藤さんは笑う。

地元の人たちがそっと見守り続けてきた群生地だが、広く知られるようになると、つれ盗掘が急増。群生地が荒らされることを心配した大竹地区と町では十年ほど前から一帯の福寿草を、金浦町指定天然記念物」とし、採取を禁じている。

「正月用として鉢植えも出回ってますけど、やっぱり寒さに耐えて咲く自然の花の方が感動的。特に、なごり雪がさらりと降った翌日なんか、雪を解かしながら咲いているように見えて、これはもう最高。何度見てもいいもんだすな」

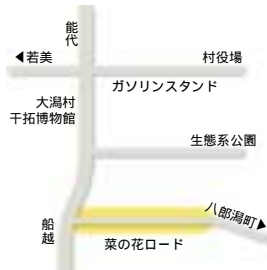
最近では盗掘も少なくなってきたという。



私のおすすめ 「大潟村 菜の花ロード」 「秋田の風景」 久米 胖さん(秋田市)

菜の花ロードは昨年秋、環境省が選定した「かおり風景100選」に選ばれました。県内からは、風の松原(能代市)、明治百年通りのアカシア(小坂町)も入っています。

ヨーロッパのような素敵な景色が続く大潟村の中でも、とびきりのおすすめです。桜とともに夢のような世界をお楽しみください。



あなたのお気に入りの風景(自然景観や街並みなど)の写真に、その風景にこめるあなたの思いを100~150字程度お書き添えのうえお送りください。採用された方には図書カード千円分をさしあげます。写真はお返ししませんので、ご了承ください。

カラープリント、サイズは自由。郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢、電話番号をお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課(住所は不要)あてお送りください。

バリアフリー 講座……………その1

「県バリアフリー社会の形成に関する条例」が制定(6ページ参照)されたのを契機に、バリアフリーについてよりよく知っていただくための講座を連載でお送りします。

缶ビールに点字で“おさけ”

缶ビールのプルタブの脇に点字が並んでいるのをご存じですか？これは、視覚障害者の方がジュースと間違えて飲まないように、点字で「おさけ」と書いてあるのです。また、携帯電話や電卓、ボタン式の電話機の「5」の所には、小さな「ぼっち」がついていますが、これも視覚障害者の方に配慮したものです。

それでは、ご自宅のシャンプーとリンスを並べてみてください。シャンプーの方にだけ、横腹にギザギザがついていますから、髪を洗っていて目が開けられないときでも間違えることはありませんね。

これらは、障害のある方もない方も使いやすいようにという考え方~「ユニバーサルデザイン」~で作られているのです。

お問い合わせ
県バリアフリー促進チーム
TEL018(860)1325



編集部から

新年度を迎えて本紙も少し模様替えをし、全ページをカラーとしましたが、お気づきですか？また、6月と12月には16ページでお届けします。「おたよりから」と「バリアフリー講座」は新コーナーです。ますます県民の皆さんに親しんでもらえるような広報紙作りに励みたいと思います。広報課と情報公開室が統合され情報公開課になりましたので、よろしくお願いします。

秋田スギの柱で あなたの家を新築しませんか

秋田スギの地元での利用を拡大するため、住宅を新築される方に、乾燥秋田スギ柱材(4寸)を、1戸当たり90本を上限に無償で提供します。

今年度は100戸分をご用意できます。申込方法や条件など、詳しくは下記までお問い合わせください。

問あきた県産材利用センター

TEL018(837)8095



クイズ

正解者の中から抽選で、10人の方に図書カード千円分をお贈りします。

問題 県のテレビ広報番組のうち、ABS秋田放送の番組名が4月から変わりました。新しい番組名は何でしょう？(P7参照)

- (1) あきた東西南北
- (2) 秋田花まるっ
- (3) こちらお茶の間情報局

応募方法 郵便番号、住所、氏名(読みがな)、年齢と本紙の感想などをお書きのうえ、〒010-8570県情報公開課クイズ係(住所は不要)あてお送りください。締切は4月25日(消印有効)、ハガキ、ファックス(018(860)1072)、Eメール(sinjidai@pref.akita.jp)でどうぞ。

2月号の正解は(1)でした。応募686通、うち正解670通の中から抽選で次の方々当選されました。井上タカさん(大館市)、津谷嘉助さん(鷹巣町)、和田愛加さん、高橋洋子さん、杉淵裕美さん、中川恵利子さん(以上、秋田市)、八柳良子さん(本荘市)、柳橋富子さん(西目町)、古谷ワカさん(雄和町)、高橋益子さん(六郷町)

県政だより「あきた新時代」は県内全世帯にお届けしています。ご近所などで配達されない方がおられましたら、県情報公開課までお知らせください。また、ご感想などをお待ちしています。

県政だより「あきた新時代」は県のホームページ「美の国秋田ネット」で紹介しています。

アドレスは、<http://www.pref.akita.jp/>

県政だより「あきた新時代」は、点字版、音読テープ版も発行しています。ご希望の方は、県情報公開課までお知らせください。



県人口 1,181,994人 (-589)
男 560,429人 (-332)
女 621,565人 (-257)
世帯数 392,886世帯(+61)
(平成14年2月1日現在の推計値。カッコ内は前月比)